

科目名	メンズデザイン論Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	120	作成者	山本廣道・於保可那子

【科目の到達目標】

メンズアパレル商品企画・基礎知識を身に付け、自ら企画を立ててニーズにあった企画提案ができデザインを考る能力の向上や感性を身に付けることを目標とする。

【科目の概要】

メンズアパレル産業におけるデザイン・商品企画に必要な知識と技術を学んでいく。
デザインするにあたって基本的な仕組みや原理を学び、洋服のデザインに応用する。
素材の特性を知り、テキスタイルを中心にアパレルデザインを考え企画書としてプレゼンする。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	プレタ展 シャツデザイン①	31・32	デザイン企画
3・4	プレタ展 シャツデザイン②	33・34	リサーチワーク
5・6	プレタ展 シャツデザイン③	35・36	アイデアワーク
7・8	デニムデザイン①	37・38	デザインワーク
9・10	デニムデザイン②	39・40	プレタポルテブランド企画
11・12	ストリートファッションデザイン①	41・42	リサーチワーク
13・14	ストリートファッションデザイン②	43・44	アイデアワーク
15・16	ストリートファッションデザイン③	45・46	デザインワーク
17・18	デザイン演習① ブランドコンセプト	47・48	プレゼン
19・20	デザイン演習② シーズンコンセプト	49・50	商品企画デザイン
21・22	デザイン演習③ ブランド研究・リサーチ	51・52	リサーチワーク
23・24	デザイン演習④ デザイニング	53・54	アイデアワーク
25・26	プレゼンテーション	55・56	デザインワーク
27・28	上田学園コレクションデザイン	57・58	プレゼン
29・30	上田学園コレクションデザイン	59・60	まとめ

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	メンズ実習 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	120	作成者	相宅 扶美

【科目の到達目標】

プレタポルテのデザイン、パターン、カッティング、ソーイングの一貫した理論、知識と技術を習得する。

【科目の概要】

ファッションデザイン物は高度な基本テクニックが伴って粋で高度な機能美を自らの手で作り上げる。
 アパレルの服作りに欠かす事のできない創作デザイン、パターン、カッティング、ソーイングの一貫した理論、知識と技術を習得。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	紳士服関連説明概論・ミシン縫い練習	31・32	スラックス製図
3・4	ポケット作り・端の始末	33・34	スラックス製図
5・6	デザインジャケット製図	35・36	スラックス裁断
7・8	デザインジャケット裁断	37・38	スラックス縫製
9・10	デザインジャケット縫製	39・40	スラックス縫製
11・12	デザインジャケット縫製	41・42	スラックス縫製
13・14	デザインジャケット縫製	43・44	スラックス縫製
15・16	デザインジャケット縫製	45・46	スラックス縫製
17・18	デザインジャケット縫製	47・48	スラックス縫製
19・20	デザインジャケット縫製	49・50	スラックス縫製
21・22	デザインジャケット縫製	51・52	スラックス縫製
23・24	デザインジャケット縫製	53・54	スラックス縫製
25・26	デザインジャケット縫製	55・56	スラックス縫製
27・28	デザインジャケット縫製	57・58	スラックス縫製
29・30	カットソー	59・60	スラックス仕上げ

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	パターンメイキング I (メンズ)	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	相宅 扶美

【科目の到達目標】

プレタポルテのデザイン、パターン、カッティング、ソーイングの一貫した理論、知識と技術を習得する。

【科目の概要】

ファッション・デザイン物は高度な基本テクニックが伴って粋で高度な機能美を自らの手で作り上げる。
 アパレルの服作りに欠かす事のできない、創作デザインパターン・カッティング・ソーイングの一貫した理論・知識と技術を習得。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	紳士服関連説明概論	31・32	ジャケット
2	スラックス	33・34	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)
3・4	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)	35・36	
5・6		37・38	
7・8	ジーンズ	39・40	ハーフブルゾン
9・10	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)	41・42	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)
11・12		43・44	
13・14	グルガシヨーツ	45・46	ショートコート
15・16	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)	47・48	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)
17・18		49・50	
19・20	ワイシャツ	51・52	スポーティラグラン
21・22	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)	53・54	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)
23・24		55・56	
25・26	ベスト	57・58	オーバーオールス
27・28	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)	59・60	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)
29・30			

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	メンズ商品企画 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 50% 実習 50%
時間数	120	作成者	佐山 孝典

【科目の到達目標】

メンズアパレル、ファッション製品の基本的な知識を基に商品企画とデザインができる。
また、コンピュータを使い、商品企画書とスタイル画、ハンガーイラストを作成し、プレゼンテーションできる。

【科目の概要】

主に戦後日本のメンズアパレル史とメンズ製品の基本アイテムを解説し、オリジナルブランド企画書をコンピュータを使い作成する。また、これらの企画書をプレゼンテーションスキルを習得する。

【授業計画】

90分/コマ	前期		後期
1,2	アパレル・ファッション業界 概要	31,32	基本アイテム解説④ アイテムハンガーイラスト演習④
3,4	メンズ服飾史①/スタイル画演習①	33,34	コーディネート企画④
5,6	メンズ服飾史②/スタイル画演習②	35,36	基本アイテム解説⑤ アイテムハンガーイラスト演習⑤
7,8	メンズ服飾史③/スタイル画演習③	37,38	コーディネート企画⑤
9,10	基本アイテム解説① アイテムハンガーイラスト演習①	39,40	基本アイテム解説⑥ アイテムハンガーイラスト演習⑥
11,12	コーディネート企画①	41,42	コーディネート企画⑥
13,14	基本アイテム解説② アイテムハンガーイラスト演習②	43,44	ブランド企画①
15,16	コーディネート企画②	45,46	ブランド企画②
17,18	基本アイテム解説③ アイテムハンガーイラスト演習③	47,48	ブランド企画③
19,20	コーディネート企画③	49,50	ブランド企画④
21,22	コーディネートプレゼンテーション	51,52	プレゼンテーション
23,24	メンズファッションアイコン①	53,54	ポートフォリオ①
25,26	メンズファッションアイコン②	55,56	ポートフォリオ②
27,28	メンズファッションアイコン③	57,58	ポートフォリオ③
29,30	試験	59,60	試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『ザ・ストリートスタイル』高村 是州 グラフィック社(1997)
『ファッションスタイル・クロニクル』高村 是州 グラフィック社 (2018)

【教材・教具】

筆記用具 デザインノート 画用紙 描画用具 コンピュータ

科目名	クリエイションテクニック	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	90*45(前期30+後期15)	作成者	酒井知可子

【科目の到達目標】

カジュアルウェアの基本アイテムであるシャツ、パンツ(ジーンズ)により作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。また、創作作品ではコースの特色を活かしたデザインで効率の良い縫製を考えて製作する。

【科目の概要】

ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	シャツの芯貼り、縫製		31 創作作品(又は上田学園コレクション作品)の製図
2	シャツの縫製		32
3	シャツの縫製		33 創作作品 トワール仮縫い
4	シャツの縫製		34
5	シャツの縫製		35 創作作品 裁断
6	シャツの縫製		36 創作作品 縫製
7	シャツの縫製		37 ↓
8	シャツの縫製		38 ↓
9	シャツのデザイン製作		39 ↓(上田学園コレクション作品仕上げ)
10	シャツのデザイン製作		40 ↓
11	シャツのデザイン製作		41 ↓
12	シャツ完成		42 ↓
13	パンツ(ジーンズ)パターン作成		43 ↓
14	パンツ(ジーンズ)パターン作成		44 ↓
15	パンツ(ジーンズ)の裁断・縫製		45 提出
16	パンツ(ジーンズ)の縫製		
17	パンツ(ジーンズ)の縫製		
18	パンツ(ジーンズ)の縫製		
19	パンツ(ジーンズ)の縫製		
20	パンツ(ジーンズ)の縫製		
21	パンツ(ジーンズ)の縫製		
22	パンツ(ジーンズ)の縫製		
23	パンツ(ジーンズ)の縫製		
24	パンツ(ジーンズ)の縫製		
25	パンツ(ジーンズ)の縫製		
26	パンツ(ジーンズ)の縫製		
27	パンツ(ジーンズ)の縫製		
28	パンツ(ジーンズ)の縫製		
29	パンツ(ジーンズ)の縫製		
30	パンツ(ジーンズ)完成		

【成績評価方法】

作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締め切り期日の厳守)
指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

『ブラウス』『パンツ』『ワンピース』上田安子服飾専門学校 最新版
・教員作成のオリジナルプリント

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式
実物または部分縫いの見本

科目名	ドレーピング	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	上田安子パターン担当

【科目の到達目標】

ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに出来る。

【科目の概要】立体製図(ドレーピング)技術を習得することで、今日アパレルメーカーで求められるスピード感や、新しい素材や難しいデザインに対応出来るスキルを獲得する。凸凹のある女性の体(ボディ)に布地(トワール)を合わせてゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作る技術、およびこれを平面パターンにする方法を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1, 2 「ドレーピング概論」
ボディ、トワールの扱い方の講義
- 3, 4 ショルダーカット(ダーツ)
- 5, 6 アームホールカット(ダーツ)
- 7, 8 サイドカット(ダーツ)
- 9, 10 ウエストカット(ダーツ)
- 11 ステンカラー
カットで作った身頃を使用
- 12 ピーターパンカラー
カットで作った身頃を使用
- 13 台襟付きシャツカラー
カットで作った身頃を使用
- 14 開襟シャツカラー
カットで作った身頃を使用
- 15, 16 タイトスカート
- 17 タイトスカートのパターンどり
- 18 フレアースカートの製作
- 19, 20 ブラウス シャツカラー(ショルダー切替)
- 21, 22 シャツカラー(上記のブラウス)
- 23, 24 一枚袖(上記のブラウス)
- 25, 26 身頃の復習(ダーツ)
- 27, 28 まとめ
- 29, 30 前期試験

【成績評価方法】

課題作品の評価 60% 期末試験 30%・・・評価シートによる 授業研究態度 10%

【教科書・参考書】

ドレーピング教科書 オリジナルプリント

【教材・教具】

トワール、シルクピン、黒綿テープ、アイシーテープ、はさみ、メンディングテープ、カッター、製図道具、模造紙、製図用シャープペンシル

科目名	コンピュータ演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につける。Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使しポートフォリオが作成できる。アパレルCADを利用したパターンを作図する方法を理解する。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 自己PRシート作成(写真を撮影し画像処理)
- 2 " ロゴマーク作成
- 3 ポートフォリオ作成 ポートフォリオの考え方(要素・機能・効果)
- 4 " スキャナーなどからの画像の取り込み方(画像解像度を理解する)
- 5 " レイアウトの基礎マップ作成 Photoshopを使った画像合成
- 6 " ハンガーイラストの描き方 Illustratorを使ったペンツールなどのテクニック
- 7 " デザイン画の着色方法 線画に着色、柄を作成し着彩する
- 8 " Photoshop作成画像をIllustratorでレイアウトしポートフォリオを完成する
- 9 タイトスカート パターン作成(Pattern Magic)
- 10 ↓ ハンガーイラスト作成(縫製仕様書)
- 11 CADタイトスカート2本ダーツ製図
- 12 ↓ 表地工業用パターン作成 裏地工業用パターン作成
- 13 マーキング(Marker Magic) 仕様書指示書作成
- 14 まとめ
- 15 テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	ファッションビジネス論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	三谷和也

【科目の到達目標】

ファッションをビジネスの観点から検証、分析、これからの業界を多角的(メディア、AI等)に考えて行ける人材になる。

【科目の概要】

世界から見た日本のファッション業界のあり方。これから目指さなければならないファッションビジネスの形。アパレル業界で知っておかなければならない常識。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 アパレルにおける仕事の流れ
- 2 業務・仕事の種類
- 3 ビジネス視点から見た日本のファッション業界
- 4 テキスタイル産地の現状
- 5 原料メーカー、専門商社、産地
- 6 5大コレクションの話
- 7 機能素材の話。機能ウェアの話実習
- 8 ニットの話
- 9 今年のマイトレンド分析(プレゼンテーション)
- 10 日本のファッション史
- 11 VMDの話 A4に実習
- 12 ブランド作成、ブレインストーミング
- 13 音楽とファッションのコラボレーション
- 14 デニムの知識
- 15 アイテム別コスト出し(テスト)

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

(よくわかるアパレル業界) 椎塚 武署 ファッション業界戦略地図 ファッション蘊蓄辞典

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ファッションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

通年受業の終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	ヌードボディの表現	16 画材表現(ガッシュ)
2	ヌードボディの表現	17 画材表現
3	顔、ヘアスタイル、足、靴の表現	18 画材表現(マーカー)
4	顔、ヘアスタイル、足、靴の表現	19 画材表現
5	着装表現①(男性的ディテール表現)	20 画材表現(パステル)
6	着装表現①(男性的ディテール表現)	21 画材表現
7	着装表現②(女性的ディテール表現)	22 アイテム画の表現(ボトムス)
8	着装表現②(女性的ディテール表現)	23 アイテム画の表現
9	着装表現③(その他応用表現)	24 アイテム画の表現(トップス)
10	着装表現③(その他応用表現)	25 アイテム画の表現
11	デザイン画選手権の作品制作(ラフ)	26 メンズ表現
12	デザイン画選手権の作品制作(下絵)	27 メンズ表現
13	デザイン画選手権の作品制作(下絵)	28 キッズ表現
14	デザイン画選手権の作品制作(着色)	29 キッズ表現
15	デザイン画選手権の作品制作(着色)	30 期末テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100 % 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【科目の到達目標】

市場動向を読み取り、デザインにあった素材選びのできるスペシャリストを目指す。
 アパレル素材の役割を理解、繊維特性、布地の構造による機能の違いなど専門知識を修得する。

【科目の概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。
 講義を通じてさまざまな繊維の機能性、加工による付加価値を理解。さらに布地構造による基本特性を把握し、
 アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
 ■アパレル製品の生産流通経路(1)
 繊維・糸・布地
- 2 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
 メーカー、産地など
- 3 ■布地の種類
- 4 織物
- 5 編物
- 6 レース
 布地まとめ
- 7 ■家庭用品品質表示法 品質表示の見方
- 8 ■繊維の種類と特性
 天然繊維(植物繊維)
- 9 天然繊維(動物繊維)
- 10 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 11 化学繊維(合成繊維)
- 12 ■繊維の機能性
- 13 ■糸の種類と太さ
- 14 まとめ(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物評価40% テスト50% (期末試験40%, 小テスト 10%) 授業態度10%

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年
- ・田中道一、『生地の事典』,株式会社みずしま加工, 2013年

【教材・教具】

- ・筆記用具

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 90% 実習 10%
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

- ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。
- ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などのヴィジュアル資料から学んでゆく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 ガイダンス【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化
- 2 古代ローマ～ビザンチン時代
- 3 ルネサンスの始まり
- 4 バロック時代:エリザベス I 世
- 5 ロココ時代:マリーアントワネット:革命と失脚
- 6 ナポレオンの登場と19世紀ドレスの変容
- 7 復習・小テスト
- 8 オートクチュールの始まり :ウォルト・ポールポワレ・シャネル
- 9 19～20世紀 フランス :オートクチュールからプレタポルテ
- 10 19～20世紀 :イタリア:GUCCIとハイブランドの変遷
- 11 19～20世紀 :ロンドン:パンクムーブメント
- 12 19～20世紀 :アメリカ:ストリートとカウンターカルチャー
- 13 20世紀 :日本国内のトレンド:DCブランド～KAWAIIカルチャー
- 14 まとめ・復習
- 15 テスト

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

教科書『西洋服飾史』小松松茂著 平成19年 改訂新版 服飾手帖社

【教材・教具】

プリント・スライド

科目名	キャリアデザイン	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80% 実習 20%
時間数	30	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

クリエイター学科が目指す卒業後の進路・就職先の獲得と卒業後のスキルアップの方法を修得。

【科目の概要】

アパレル業界を中心とした川上・川中・川下の理解と社会人としての基本マナーの習得、就職活動の方法や面接、グループディスカッションの技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 就職先となる業界の現状把握(A先生)
- 2 就職活動までに準備すべき内容(B先生)
- 3 ポートフォリオの制作方法(B先生)
- 4 企業分析の方法と対策(C先生)
- 5 インターンシップの活用方法(C先生)
- 6 エントリーシートの記入方法(C先生)
- 7 自己PRと志望動機のポイント(C先生)
- 8 個別面接対策(C先生)
- 9 グループディスカッション(C先生)
- 10 卒業後のスキルアップ(C先生)
- 11 社会人マナー①(D先生)
- 12 社会人マナー②(D先生)
- 13 社会人マナー③(D先生)
- 14 社会人マナー④(D先生)
- 15 キャリアサポートセンターの活用方法(A先生)

【成績評価方法】

提出物評価90% 授業態度10%

【教科書・参考書】

「キャリアテキスト」株式会社パーソナルヴィジョン研究所

【教材・教具】

筆記用具、参考プリント